

草津でホタルを楽しむ会



ホタルを通して自然を守り
大切さを伝え続けたい

今の便利な生活が当たり前になってしまった私たちと自然との関わりは、昔と比べて少なくなっているのではないのでしょうか。ホタルを通して、そんな自然の素晴らしさや大切さを次世代に残し、伝えるために活動をする団体取材しました。

ホタルと自然が共存するまちを目指して

草津でホタルを楽しむ会は、身近に自然がありホタルが飛び交うまちを目指すとともに、ホタルを通して自然の大切さを次世代に伝える活動をしています。主な活動内容は、小学校や地域のイベントでホタルについての講演会や学習会を行ったり、生息環境の調査や生態研究など多岐に渡ります。

活動を始めた経緯や日々の活動の思いなどについて、代表の鈴木さんにお話を伺いました。

モットーは遊び心を忘れず楽しむこと

現役時代は仕事に追われ、忙しい日々を過ごしていた鈴木さんに孫が生まれて気付いたことがありました。「自分の子どもには自分が持っているものを何も伝えてあげられなかった。だったら、孫には何かを残してあげなければ。」地域の自然環境に関心を持っていたこともあり、早速、鈴木さんはお孫さんを夜のホタル探訪に連れ出しました。そして、そこで見つけた一匹のホタルに大変感動したそうです。「この感動をもっとたくさん子どもたちや地域の人たちにも知ってほしい。」そんな思いがきっかけとなり、会が結成され、草津周辺のホタルの生息環境の調査や生態の研究、ホタルや自然に関わる団体との交流が始まりました。

本格的な活動のきっかけは、平成18年度に草津市ひとまちキラリ活動助成事業に採択されたことでした。「補助金をもらう以上、活動はもっとしっかりしたものにならなければいけない」という思いから、小学校や地域でのホタル学習会やシンポジウムの開催、市外に出向き、ホタルの観察や生息環境の調査を行うなど活動の幅を広げてきました。中でも、地域住民と行った新堂町浅池水路の「ホタルの棲める水辺づくり」活動は、不法投棄されたゴミの搬出、土手づくり、敷石、植樹作業など体力を使う大変な作業でした。現在は、水辺に親しむ場として、地域の方へ引き継がれています。「活動を続ける中で大変なこともあります。まずは自分たちが遊び心を忘れず、活動を楽しむことを大事にし

活動分野 環境・まちづくり・生涯学習

スタッフ数 10人

団体設立 2005年5月

団体ホームページ

<http://hotaru932.shiga-saku.net/>

ホタルを身近な生き物として親しんで欲しい

鈴木さんが草津周辺のホタルの生息調査を始めて、今年で14年目。その間だけでもホタルの生態系に大きな変化が見られるようで、昔はどこでも見ることが出来たヘイケボタルが最近、草津周辺では見られなくなったそうです。今や夜でもまちは明るく、人間にとって住みやすい生活環境となりましたが、私たちの気付かないところでは、ホタルの生息環境に影響を及ぼしていることがあるのかもしれません。

「昔と比べて数は減りましたが、ホタルを身近な生き物として親しみ、ホタルを通して楽しく交流して欲しい。」そんな思いから、「ホタルを親しむ集い」というイベントを毎年開催しています。ホタルの生息環境の話や地域で自然に親しむ取り組みを紹介、また、ホタルの手作りグッズを作ったり、ホタルの観察にでかけたり、子どもも大人も世代を越えて、楽しく交流しています。

「市内にはまだまだ素晴らしい自然がたくさんあります。子どもたちと一緒にホタル探訪にでかけて、まちを歩く中でこんな生き物がいたとか、こんな草が生えていたとか、身近な自然の再発見をしてもらいたいし、何より自分の目で生のホタルを見て感動してもらいたいです。」

子どもたちとの交流が元気の源になる

小学校を訪問して、ホタルの授業を行う鈴木さんの元に、子どもたちから感想文をまとめた手作りの冊子や、ホタル新聞などが届きました。中にはホタルの会が出来るまでのストーリーをまとめたミニ絵本まで作ってくれた子もいたそうで、子どもたちにとって、鈴木さんのお話はとても興味深く、楽しい時間だったことが伺い知れます。実際に見せていただく中で、ひとつひとつ嬉しそうに説明して下さる鈴木さんの姿がとても印象的で、「この活動をやって良かった！こっちが逆に元気をもらっている！」といきいきされていました。これからも「草津のホタルのおっちゃん」は、子どもたちにホタルの素晴らしさを伝え続けて行くことでしょう。



▼「ホタルに親しむ集い」にて、ホタルの折り紙と色紙飾り作りの様子



▼笠縫東「ほたるフェスタ」の様子。ホタル学習会の後、中の井川・葉山川でホタル観察を実施



▼代表の鈴木 道弘さん

取材メモ

右の写真で鈴木さんが被っている手作りのホタルの帽子は、電池を入れると点灯する仕組みになっており、両手に持っているゲンジボタルのオスとメスの人形は本物そっくりに作られています。これらは地域の方からの頂きものだそうです。ホタルの会は地域の方や子どもたちにとって身近な存在であり、皆に支えられているのだなと感じました。



【注釈】草津市ひとまちキラリ活動助成事業…市民公益活動団体の立ち上げや連携協力推進のための助成金事業。

【発行元】まちづくり協働課

TEL 077-561-2337 FAX 077-561-2482